

今、わたしたちに できることを



活動の様子を教えてください！

地域へふれあいサロン活動の情報を発信しています。
開催にあたっての工夫や参加された様子などをお聞
かせください。



今市地区「一の谷お元気会」では、新型コロナウイルス感染対
策をしながら活動を再開しました。新型コロナウイルスに負け
ず、健康づくりに取り組んでいます！ （詳しくは2ページ）

ふれあいサロン

新型コロナウイルス感染症の影響により市内の多くのサロンが活動を休止していましたが、感染対策をしながら少しずつ活動が再開されています！

活動
レポート

今市地区ふれあいサロン

「一の谷お元気会」

活動休止中は、スタッフが参加者のお宅にお便りを配布し、体力維持や食事、人との交流など生活で気を付けたいポイントの情報が届けられました。再開に向けては、スタッフで話し合い、必要な感染対策の確認が行われました。当日は、参加者から「毎月届くお便りを読んでいました」「家族にサロンの様子を話す楽しみが戻りました」といった声があがりました。

活動の取材を通じて、「サロン活動は続けることが大事だね」とスタッフの皆さんがお話される様子が印象的でした。



☒ チェックしてみてください

サロン活動を再開するためのポイント

<感染拡大を防ぐために>

- ☐ 参加者には事前に体温計測、マスク着用、手洗いを呼びかける
- ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は参加を控える
- ☐ 参加者名簿を作成し、参加者に体温や体調の確認を行う
- ☐ 複数の人が触れる場所を消毒する（手すり、テーブル、椅子、使用物品）
- ☐ 換気を行う
- ☐ 参加者同士の間隔（横、対面）を空ける
- ☐ 録音した音源などを活用し、大きい声を出す機会を少なくする

<身体を動かす活動をするとき>

- ☐ 息が荒くなるような運動は避ける休憩を取る
- ☐ 熱中症予防のため、距離が取れる場合（2m以上）はマスクを外す

<飲食を伴う活動をするとき>

- ☐ 座席の配置を工夫する（対面ではなく横並びで座るなど）
- ☐ 飲み物は参加者が持参する
- ☐ 食器やコップを使う場合は使い捨てのものを活用する
- ☐ 複数名で物品を共有する必要があるよう内容を工夫する



ふれあいサロンについてお気軽にご相談ください

開催については、新型コロナウイルスの感染状況に応じて適宜ご判断ください。
迷われる場合などは出雲市社会福祉協議会へご相談ください。

問合せ 地域福祉課および各支所（連絡先は10ページをご覧ください）



理事・監事・評議員のご紹介

評議員が新たに1人選任されました。

●任期

理事・監事（令和元年6月18日開催の定時評議員会の終結の時～令和3年の定時評議員会の終結の時）

評議員（平成29年4月1日～令和3年の定時評議員会の終結の時）

●理事（15人）

＜会長＞

渡部 英二

＜副会長＞

齋藤 茂子

＜副会長＞

吉田 明弘

＜常務理事＞

大森 康正

阿食 かをる

飯塚 眞治

岡 賢治

岡 眞悟

川瀬 英

柳樂 紀美子

柳樂 好美

常陸 実

日野 和子

堀西 雅亮

森山 アサ子

●監事（3人）

白枝 淳一

馬庭 隆

森脇 慶昌

●評議員（20人）

飯塚 晃

石飛 正登

和泉 積

江角 英子

岡並 るみ子

小村 和恵

河瀬 京子

黒目 潤子

曾田 正一

高田 茂明

竹下 茂

玉田 珠美

成相 友之（新）

西 郁郎

原 正

布野 泰徳

堀川 博

松浦 絹子

山口 史子

米原 ゆきみ

※敬称略

令和元年度

事業報告

主な事業を紹介

「安心づくり」「地域づくり」「人づくり」を柱として事業に取り組みました。

安心づくり

さまざまな福祉課題を抱える人に寄り添い、支援に取り組みました。住民や関係機関と連携した支援体制の強化に努め、その人らしい生活の実現を図りました。

地域づくり

安心づくりを支えるために地域住民の理解と協力を得ながら、地域における支え合いの体制づくりに取り組みました。また、社会福祉法人の連携と協働による地域における公益的な取組の具体化を進めました。

人づくり

地域で福祉活動に参加する人を広げるために、研修事業に取り組みました。また、「生きづらさ」を抱える人の存在に気づき、理解と支え合いを広げるために学校や企業などで福祉教育の取組を推進しました。



安心づくり

一人ひとりの福祉課題を解決するための支援を行いました

生活支援・相談センター

生活や経済的な困りごとを抱える方への相談に応じ、一人ひとりの状況に合わせて解決策を考え支援を行いました。

●地域生活相談事業

一般相談件数 206件
法律相談件数 156件

●自立相談支援事業

新規相談受付・申込件数 237件
緊急一時的支援件数 174件
(内訳) 食料支援 140件
緊急現金貸付 18件
生活用品提供 16件

●就労準備支援事業

利用件数 就労準備支援事業 3件
被保護者就労準備支援事業の実施 1件

●家計見直しサポート事業(令和元年9月末で事業廃止)

利用件数 9件

●家計改善支援事業(令和元年10月より事業開始)

利用件数 3件

●生活物品支援事業

利用件数 3件

●生活福祉資金貸付事業

貸付件数 75件

●民生融金貸付事業

貸付件数 66件

高齢者あんしん支援センター

高齢者(65歳以上の方)が地域で自立した生活を継続できるよう支援を行いました。

●相談対応 8,172件

●成年後見・虐待・困難事例などの対応 421件

●介護予防普及啓発 53件

●自主グループ立ち上げ・運営支援 69回

●介護予防支援・介護予防ケアマネジメント件数 27,650件

●地域ケア会議の開催 69回

いずも権利擁護センター

認知症や知的障がい、精神障がいのある方などで権利侵害を受けやすい方への支援を行いました。

●日常生活自立支援事業

利用者 118人

相談対応・支援件数 7,172件

●法人後見事業

利用者 10人

相談対応・支援件数 674件

●障がい者入居債務保証事業

利用者 10人

●財産保全サービス事業

利用者 3人

●市民後見推進事業

市民後見人への活動支援
成年後見制度普及啓発活動 等



地域づくり

地域での支えあいの取組を
広げました

地域住民の主体的な 福祉活動の推進

- 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業
41 地区社協が行う 200 事業を支援
(1, 430 万 504 円を助成)

- 福祉団体活動助成事業
31 団体に 727 万 1, 602 円を助成

- ふれあいサロン活動助成事業
サロン数 364 か所
参加者 延べ 48, 878 人
(2, 332 万 666 円を助成)
- ふれあいサロン研修会 5 回開催

- 地域ふれあい見守りネットワーク事業
「多伎・湖陵・斐川」
対象者数 延べ 1, 012 人

地域住民等の参加と協働による 福祉のまちづくりの推進

- 認知症高齢者等 SOS メール
安心ネットワーク事業

登録メールアドレス数 1, 448 件
メール配信数 21 件 (行方不明者情報 14 件)
事前登録者数 94 人

- 出雲市生活支援体制整備事業

・ 地域における支えあいの体制づくりの推進
地域支え合いフォーラムの開催

参加者 約 220 人

地域支え合い研修会

18 回開催 参加者 延べ 611 人

ワークショップ

4 回開催 参加者 延べ 187 人

・ 地域支え合い会議 9 地区で実施
・ 生活支援サービスの実態調査、立ち上げ支援
・ 生活支援活動の担い手養成
・ 協同組合系組織との協働

- たすけあいボランティア事業

利用会員 87 人 協力会員 52 人

賛助会員 11 人

利用件数 1, 488 件 (2, 441 時間)

- 共同募金歳末助け合い事業
市内全地域で 24 事業を行いました。

福祉サービスの提供

- 車イスの貸出事業

貸出件数 416 件

- ガイドヘルプ事業

利用件数 1, 120 件

社会福祉法人等との 連携・協働及び支援等

- 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業

「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」及び「斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会」の事務局として、社会福祉法人の地域貢献活動を推進しました。

人づくり

地域福祉推進のために必要な人材の養成や
自主的な福祉活動などの支援を行いました

ボランティア活動の促進

- ボランティア・まちづくりセンター運営

相談件数 723 件

ボランティア団体登録者



161団体・4,240人
ボランティア個人登録者 133人

技術ボランティアの養成

- 手話奉仕員養成講座

受講者17人 修了者15人

- 手話奉仕員フォローアップ研修

参加者 延べ92人

- 手話奉仕員レベルアップ講座（前期）

受講者12人

- 手話通訳者養成講習会を目指す学習会

（手話奉仕員レベルアップ講座（後期））
受講者11人

- 要約筆記奉仕員フォローアップ研修

参加者 延べ18人

- 点訳奉仕員養成講座

修了者4人

- 広報音訳ボランティアフォローアップ研修

参加者 延べ38人

ボランティア活動に参加 する人とネットワークの拡大

- ボランティア講座（全3回）

参加者 106人

- 社会福祉施設ボランティア推進研修会

参加者 19人

福祉教育の推進

- サマーボランティアスクール「斐川」

参加者 小中学生22人

- 福祉学習支援

実施回数 79回

参加者 3,419人

- あいサポート運動推進事業

実施回数 31回

参加者 1,110人

法人運営

経営全体の管理を行い、住民に信頼
される法人運営の確立を図りました。

信頼にこたえる法人運営

- 法人運営事業

役員会等の開催、役職員の研修等

- 災害見舞への取組

火災など災害にあわれた世帯に見舞金をおくりました（19世帯）

- 会館管理事業

出雲市社会福祉センター

利用者数 15,315人

多伎地域福祉センター

利用者数 16,568人

平田福祉館 利用者数 2,382人

広報啓発活動の推進

- 出雲市総合社会福祉大会

参加者 約800人

- 広報紙「社協だよりいずも」の発行

6回

- 音訳広報発行事業

利用者数 延べ1,000人

- 点訳広報発行事業

利用者数 延べ48人

- ホームページの運営管理

- 出雲市民余芸大会

出演者 21団体

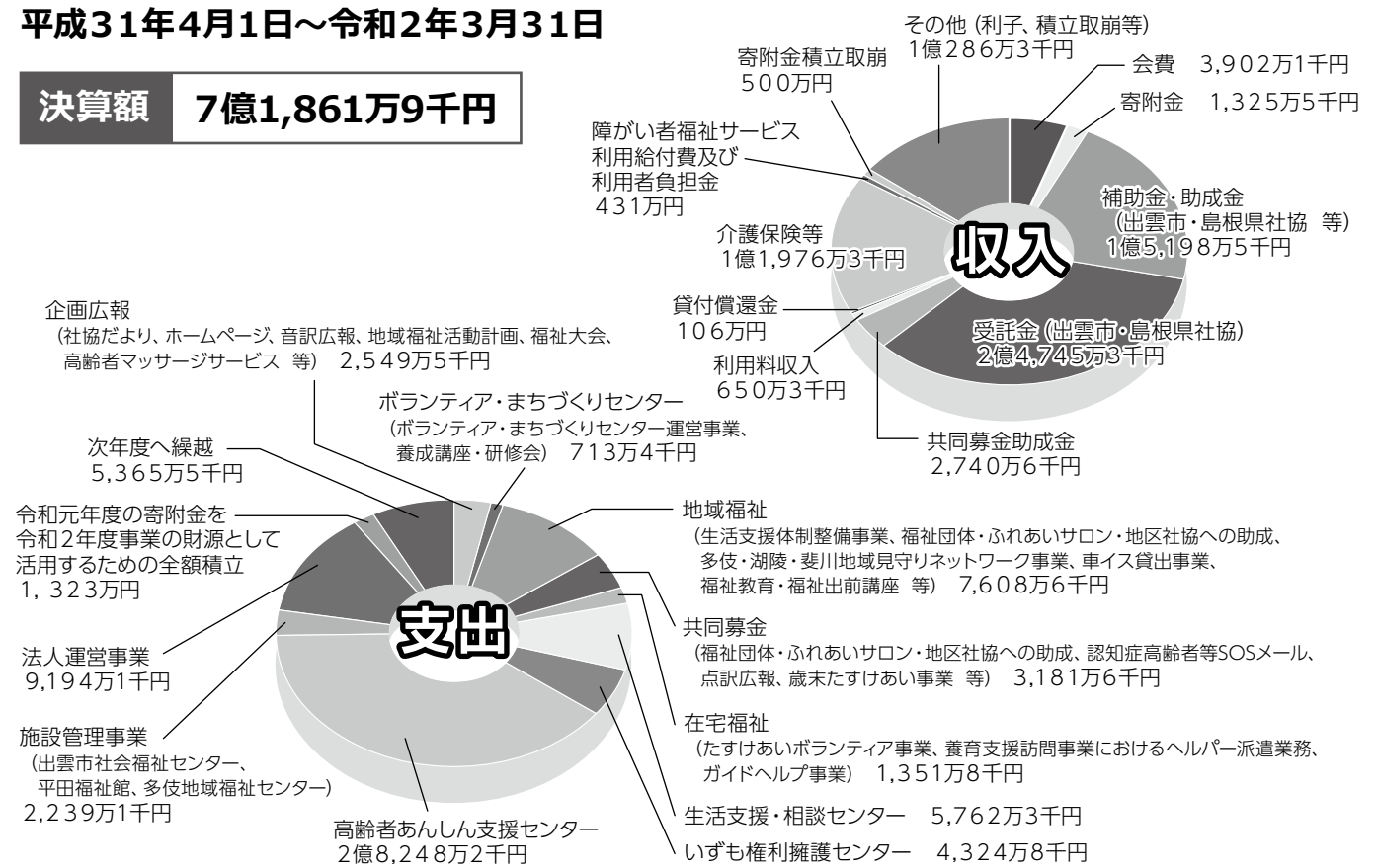
来場者 約1,300人



令和元年度出雲市社会福祉協議会決算報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

決算額 7億1,861万9千円



貸借対照表

(単位:千円)	
借方	
科目名	金額
《資産の部》	
流動資産	75,807
現金預金	52,524
事業未収金	22,534
未収金	24
未収補助金	130
前払費用	301
預け金	294
固定資産	926,295
基本財産	63,715
定期預金	9,000
建物	54,715
その他固定資産	862,580
土地	11,294
建物	57,522
車両運搬具	2,626
器具及び備品	1,753
ソフトウェア	307
貸付事業資金貸付金	869
長期預け金	136,761
退職給付引当資産	70,260
福祉事業積立資産	404,660
センター建設積立資産	200,000
権利擁護積立資産	120,443
助成積立資産	84,217
寄附金積立資産	58,492
修繕積立資産	83,342
たすけあいボラ積立資産	1,528
人件費積立資産 (ガイド)	1,000
運営資金積立資産 (包括)	6,500
地域包括推進事業積立資産	25,666
資産の部合計	1,002,102

(単位:千円)	
貸方	
科目名	金額
《負債の部》	
流動負債	22,152
事業未払金	6,637
その他の未払金	595
未払費用	8,105
預り金	4,780
職員預り金	1,902
前受金	15
前受収益	118
固定負債	234,826
退職給付引当金	234,826
負債の部合計	256,978
《純資産の部》	
基本金	9,000
国庫補助金等特別積立金	55,944
福祉事業積立金	404,660
センター建設積立資産	200,000
権利擁護積立資産	120,443
助成積立資産	84,217
寄附金積立金	58,492
修繕積立金	83,342
たすけあいボラ積立金	1,528
人件費積立金 (ガイド)	1,000
運営資金積立金 (包括)	6,500
地域包括推進事業積立資産	25,666
次期繰越活動増減差額	98,992
うち当期活動増減差額	△14,353
純資産の部合計	745,124
負債及び純資産の部合計	1,002,102



心配ごと、悩みごと相談日の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
令和2年度の一般相談・法律相談は中止します。

仕事のこと、生活のことなどの困りごとについて
随時職員が相談に応じます。

問合せ 生活支援課 TEL: **23-3790**

出雲市総合社会福祉大会 中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止
のため令和2年度出雲市総合社会
福祉大会は中止します。

ご理解いただきますようお願いい
たします。

災害で被災された方への支援について

名 称	募 集 期 間
東日本大震災義援金 (これまでの送金額 49,165,758円)	令和3年3月31日まで
平成28年熊本地震災害義援金 (これまでの送金額 3,767,821円)	令和3年3月31日まで
平成29年7月5日からの大雨災害義援金 (これまでの送金額 754,923円)	令和3年3月31日まで
平成30年7月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 2,077,162円)	令和3年6月30日まで
令和元年8月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 24,508円)	令和2年8月31日まで
令和元年台風第15号千葉県災害義援金 (これまでの送金額 118,765円)	受付終了
令和元年台風第19号災害義援金 (これまでの送金額 1,030,454円)	令和3年3月31日まで
令和2年7月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 213,855円)	令和2年12月28日まで
令和2年7月島根県豪雨災害義援金 (これまでの送金額 10,000円)	令和2年9月30日まで

あたたかいご支援
ありがとうございます。



日本赤十字社キャラクター

ハートちゃん

問合せ先／日本赤十字社島根県支部出雲市地区（事務局 出雲市社会福祉協議会 本所・各支所）

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい日々が続くなか、市民や企業の皆さまからあたたかいご寄附を多数いただいております。皆さまの想いを胸に、今だからできることに役職員一丸となって取り組んでまいります。心より感謝申し上げます。

ありがとうございます。
／



ご寄附 ありがとうございます

令和2年5月11日～7月10日受付分（敬称略）

* 出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄附

<出雲>

大津町 片寄 哲夫
(出雲市特別功労賞受賞)

<平田>

園 町 大森 康正

見舞返し

<佐田>

反 辺 安食 久夫

一市民

香典・玉串料・お花料等返し

() 内は故人

<出雲>

今市町 高橋 章(博子)
今市町 影山 晃司(美子)
今市町 岡 進(基和)
今市町北本町 千家 達彦(和義)
大津町 本田 勉(ヤエコ)
上塩治町 吉本 祐子(正義)
塩治町 三浦 弘孝(伊久子)
高松町 伊藤 満(ハル工)
白枝町 栗原 啓太(登美男)
下横町 妹尾 哲朗(千恵)
矢野町 上田 敏宏(光栄)
大塚町 福島 聡(聡恒)
大塚町 長岡 美千子(修司)
渡橋町 池田 俊子(信義)
里方町 金山 祐子(哲夫)
西林木町 新宮 文子(ナツ子)
西林木町 廣田 傳一(則子)

朝山町 吉田 義徳(美佐夫)
知井宮町 布野 伸一(藤江)
神門町 今岡 敦朗(敏則)
荒茅町 尾添 健一郎(勝部 耕蔵)

<平田>

平田町 土江 隆延(吉延)
平田町 山野 進(ヒロ子)
平田町 中島 暁(朗)
平田町 黒崎 広三(満子)
平田町 勝部 栄(良子)
灘分町 高橋 博幸(恒雄)
灘分町 常松 立雄(進)
灘分町 森脇 善男(ハルノ)
灘分町 足立 勝美(朝子)
島村町 高田 喜代志(利夫)
美談町 阿式 秀典(進)

西代町 多久和 勉(進)
国富町 小形 繁夫(アキノ)
河下町 荒木 基宏(敏雄)
岡田町 長岡 武徳(文子)
岡田町 長岡 武徳(誠夫)
岡田町 長岡 勇男(トミ)
多久町 坂本 清幸(寿夫)
小境町 長崎 康子(芳久)
小境町 梶谷 貴宏(博正)
小津町 錦織 万里子(岩保)
十六島町 渡部 敬子(タケノ)
十六島町 錦織 俊介(道子)
十六島町 樋野 司(圭子)
三津町 山岡 忠榮(操)
坂浦町 立石 広三(昌子)
野郷町 原田 清二(弘)

<佐田>

反 辺 和泉 積(ミツコ)
反 辺 和田 澄子(安食 久夫)
一窪田 今岡 明彦(満枝)
一窪田 大矢 忠孝(玲子)
八幡原 片岡 久(幹雄)
八幡原 園山 孝男(恵美子)

<多伎>

神 原 錦織 重治(静枝)
口田儀 森山 哲弥(武子)
小 田 森山 宏美(春雄)
小 田 山本 真司(定義)
多 岐 藤原 悟(正義)
多 岐 岸田 照子(信一)
久 村 石原 久貴(多喜久)

<湖陵>

二 部 今若 芳之(光江)

<大社>

遙 堪 木村 実(勝芳)
入 南 古川 信行(隆三)
中荒木 石飛 正幸(禮一)
中荒木 金築 市朗(重夫)
北荒木 手銭 弘明(神門 和男)
修理免 川村 水穂(繁夫)
修理免 山上 弘(安子)
杵築東 庄司 千代子(瀬)
杵築東 岸 直美(鳥屋尾 咲世)
杵築南 岩谷 精(喜代江)
杵築南 石橋 恒久(弘子)
杵築南 岡本 安弘(正男)
杵築西 園山 雄一郎(輝子)

杵築西 三原 幸夫(福子)
杵築西 和田 英樹(英作)
杵築北 春日 卓(年子)
日御碕 内田 進(竹縄 光義)
宇 龍 象谷 幸正(邦敏)

<斐川>

莊 原 持田 浩(茂)
莊 原 秦 博(時江)
莊 原 福島 修治(玉造)
三 絡 昌子 守男(瀧市)
上庄原 富岡 俊夫(義雄)
神 氷 池田 明美(孝雄)
上直江 嘉藤 力夫(澄夫)
福 富 森山 光二(登)
福 富 勝部 孝(弘造)
黒 目 古川 正人(タチ工)
黒 目 古川 光徳(幸江)
黒 目 福田 一則(篤幸)
三分市 玉木 久好(栄)
三分市 持田 暁生(フミエ)
三分市 北脇 和良(アキ子)

匿名寄附

23件

ご寄贈

<出雲>

今市町 小村 君恵

<斐川>

莊原地区寿昌クラブ荘和会
代 表 板倉 威

皆さまからのご寄附は、一般相談や法律相談、市内で福祉活動を行う団体
及び各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

- 出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】 出雲市にお住まいの方が本会へ 50,000 円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

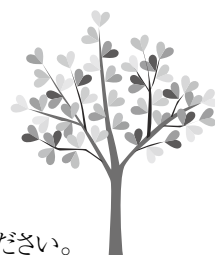
[1] 所得税 (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

[2] 住民税 (50,000円 - 2,000円) × 10% = 4,800円

[1] + [2] = 24,000円・・・税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

- 「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



生活資金にお困りの皆さまへ



新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業でお困りの方向けに
緊急小口資金、総合支援資金の貸付を引き続き受けつけています。

	緊急小口資金	総合支援資金
対象者	一時的な資金が必要な世帯 (主に休業、収入減少された世帯)	継続して毎月の収入が 減少している世帯
貸付金額	10万円以内 (特別な場合は20万円以内)	単身世帯: 月15万円以内 複数世帯: 月20万円以内 ※貸付期間: 原則3ヶ月

詳しくは生活支援・相談センターまたは各支所にお問い合わせください。

島根県共同募金会会長感謝状が贈呈されました

赤い羽根共同募金運動に対する多額のご寄付に感謝の意を表し、下記の個人・団体の皆様へ島根県共同募金会会長感謝状が贈呈されました。

お寄せいただきました募金は、出雲市の地域活動の推進のために役立てさせていただきます。

個人

大谷一夫 様

大谷一夫 様



養護老人ホーム長浜和光園 様



団体

養護老人ホーム長浜和光園 様
大社町仏教会 様
ボーイスカウト大社第一団 様
ほか一団体



ボーイスカウト大社第一団 様



大社町仏教会 様



出雲市社会福祉協議会連絡先

〈窓口対応〉平日8:30~17:15

本 所 / 〒693-0001 出雲市今市町543 ☎ fukushi@izumoshakyo.jp ホームページ https://www.izumoshakyo.jp/

本 所 / ☎23-3781 FAX20-7733 平田支所 / ☎63-4624 FAX63-5011 佐田支所 / ☎84-0131 FAX84-9034

多伎支所 / ☎86-2331 FAX86-2351 湖陵支所 / ☎43-2310 FAX43-2226 大社支所 / ☎53-3196 FAX53-6053

斐川支所 / ☎73-9330 FAX72-4068

いずも権利擁護センター ☎25-0955 FAX20-7733 生活支援・相談センター ☎23-3790 FAX20-7733

高齢者あんしん支援センター

出 雲 / ☎25-0707 FAX25-0901 平 田 / ☎63-8200 FAX63-5011 佐 田 / ☎84-0019 FAX84-9034

多 伎 / ☎86-7122 FAX86-2351 湖 陵 / ☎43-7611 FAX43-2226 大 社 / ☎53-3232 FAX53-6053

斐 川 / ☎73-9125 FAX72-4068

